

身体拘束実施状況・解除状況（月別集計）

○対象期間：5月～7月

○対象：身体拘束を把握している対象部署

1. 月別集計と推移

項目	5月	6月	7月
対象部署の全患者延べ日数	6,162 日	6,220 日	65.89 日
身体拘束延べ患者日数	71 日	88 日	54 日
身体拘束実施割合	1.15%	1.41%	0.82%
身体拘束実施患者数	10 人	14 人	11 人
身体拘束解除患者数	8 人	10 人	1 人
身体拘束解除割合	80.0%	71.4%	9.1%

2. 算出方法

○身体拘束実施割合＝身体拘束延べ患者日数÷対象部署の全患者延べ日数×100

○身体拘束解除割合＝身体拘束解除患者数÷身体拘束実施患者数×100

* 各月について同一の算出基準で集計する

3. 評価・今後の取り組み

身体拘束実施割合および解除割合を月別に集計し、推移を把握する。

身体拘束については、多職種で必要性を定期的に評価するとともに、ケア時等の一時解除や代替手段の検討を行い、身体拘束の最小化を推進する。

4. 当院で使用している拘束用具

- ミトン（手袋型）
- トレンちゃん（抜管防止手袋）
- 抑制帯（手首・足首用）
- つなぎ服（介護衣）

作成日：2026年8月

作成：社会医療法人天陽会中央病院

身体拘束適正化委員会

身体拘束最小化チーム